

コメ兵、2019年春にリアル店舗で「AI 真贋」実用化スタート

テクノロジーを活用した『リユーステック』でリユース業界に変化をもたらす

～真贋を見極める「匠」の知見と、世界最大級の中古品流通量を誇るコメ兵による市場価値向上～

日本最大級のリユースデパートを展開する株式会社コメ兵（以下、KOMEHYO）は、開発を進めている「AI 真贋」を2019年春店舗に導入することを決定し、モノを見極める精度を維持しながら、買取業務の効率化とKOMEHYOの鑑定力を支える『知』の継承を推進していきます。

KOMEHYOは、今回の「AI 真贋」を始めとする様々なテクノロジーを活用した『リユーステック』という新たな概念のもと、リユース市場全体の信頼性向上と循環型社会の形成に向けた取り組みを推進し、リユース市場の価値向上を目指してまいります。



「AI 真贋」を活用した査定イメージ

■ KOMEHYO が考える「リユース×テクノロジー」の新しいかたち

『リユーステック』とは、テクノロジーの活用によって、便利に安心して利用できる健全なリユース市場を創造し、モノのシェアによる持続可能な社会を実現するためのソリューションを意味しており、「リユース×テクノロジー」の新しいかたちのことです。KOMEHYOは『リユーステック』によって、生活者にとってのリユースをより身近に、便利で、安心できるものへと成長させ、リユース市場の価値向上に取り組んでいきます。

■ 「偽物排除」がブランド価値の毀損を防ぐ

いわゆる偽物（知的財産侵害物品）の日本への流入が平成30年に急増しており、上半期の税関での輸入差止点数が6年ぶりに65万点超えとなっております（財務省「平成30年1月から6月までの税関における知的財産侵害物品の差止状況」より）。偽物の流通は、ブランド本来の価値を毀損します。KOMEHYOは、ブランドリユースNo1※企業として、鑑定士の教育、品質管理を含めた5重の商品チェック体制、国内最大級の法人間取引「KOMEHYOオークション」での出品前の商品チェック、フリマアプリ「KANTE」での“KOMEHYOカンテイ”サービス等によって、偽物の流通を排除する取り組みを実施しております。

※リサイクル通信「中古市場データブック2018」

■ KOMEHYO だけできる「AI 真贋」実用化

KOMEHYOは71年の実績とノウハウで培った“目利き”を活かし、2018年4月からAI 真贋の開発に着手いたしました。現在は、研究フェーズから開発フェーズへと移行し、2019年春には買取業務に活用できるツールとして店舗への導入を予

NEWS RELEASE

定しております。

現在対応のブランドはルイ・ヴィトン、アイテムはバッグ、財布・小物です。その鑑定制度は 97%を超えるものとなっており、店舗導入時には更に高い精度・他のブランドへの展開を想定しております。

今回、プロジェクトスタートから AI 真贋を短期間で導入できるまでに至った理由は 3 つあります。

1. 優秀な AI エンジニアとプロジェクトチームの役割

AI 開発の成功には優秀なエンジニアの存在が絶対条件です。その上で、業務に活用できるものを求める KOMEHYO と鑑定精度を求めるエンジニアをつなぐ専門知識を有するアドバイザーをプロジェクトに加えることで、リテラシーの差による誤解をなくすことや、メンバー個々の業務や能力を把握し、開発を推進することが可能になりました。また、ノウハウを個人ではなくチームに蓄積することにつながっています。

2. 真贋を見極める「匠」の存在

AI に真贋を判断させるには、AI に本物と偽物を正確に教える必要があります（正確な教師データ）。精巧な偽物も出回る中、KOMEHYO には真贋を見極める「匠」がいるため、エンジニアと情報を共有し AI の教育をフォローしています。

3. 豊富な商品データ

AI の精度を高めるためには、できるだけ多くの商品データが必要です。そのために大量の商品を集めることが求められますが、KOMEHYO は店舗での買取りなどにより年間 140 万点の商品が品質チェックや商品化を行う「商品センター」を経由するほか、自社開催の法人向けオークションに出品される商品など、世界最大級の中古品流通を誇っており、AI 開発に最適な条件がそろっています。

■ AI の導入により「お客様の満足度を高めるコミュニケーション」と「知の継承」を実現

AI 真贋が本格的に導入されると、買取業務における時間の使い方が変化します。細心の注意が必要な真贋チェック、煩わしい情報入力などといった業務が AI により解決され、スタッフはお客様とのコミュニケーションに時間を掛けることができます。また、鑑定士育成のカリキュラムを短縮でき、店舗拡大といった成長戦略や生産性向上につなげることができます。導入した AI 真贋を KOMEHYO の鑑定士が運用することで、AI のレベルは更に賢く業務に適したものとなっていきます。「匠」の知識を AI に引き継ぐことで、KOMEHYO の鑑定力という財産を業界に残すことができる『AI を活用した知の継承』が実現します。

■ 今後の展開について

AI 真贋の店舗導入後は、ブランドやアイテムの横展開をしていき、AI 真贋をベースとした業務フローを整備していきます。また、KOMEHYO が進めているグローバル展開においても、現地での鑑定士教育という課題を解決し、拡大スピードのアップにつながると考えております。KOMEHYO が長年蓄積してきた商品データと鑑定士の目利きが AI という集合知となり、テクノロジーによる“正しく判定され、正しく買い取ってもらう”信頼できるリユース市場を世界に広めていきたいと考えております。

■ KOMEHYO の「AI 真贋」概要 ※2019 年 2 月時点

導入予定 : 2019 年春予定
導入予定店舗 : KOMEHYO 名古屋本店本館を予定 ※順次対応予定。
対応商材 : バッグ、財布・小物 ※今後増加予定
鑑定精度 : 97%
対応ブランド : ルイ・ヴィトン ※今後増加予定

■ 株式会社コメ兵 会社概要

会社名 : 株式会社コメ兵
代表者 : 代表取締役社長 石原 卓児
本社所在地 : 愛知県名古屋市中区大須 3 丁目 25 番 31 号
設立年月 : 1979 年（昭和 54 年）5 月
資本金 : 1,803 百万円
U R L : <http://www.komehyo.co.jp/>

NEWS RELEASE

事業内容 :

コメ兵は「リユーステック（テクノロジーの活用によって、便利に安心して利用できる健全なリユース市場を創造し、モノのシェアによる持続可能な社会を実現するためのソリューション）」によって、生活者にとってのリユースをより身近に、便利で、安心できるものに進化させることで、リユース市場の価値向上を実現する取り組みを進めております。

コメ兵で取り扱うリユース品は、主に自社で運営する「買取センター」にて一般のお客様からお持ち込みいただいた品物を、専門の鑑定士が査定し仕入れた品物です。また遠方のお客様には宅配を利用した買取仕入も行っております。

これらを商品として展示・販売するまでに品質チェック及びメンテナンス等を十分に行い「確かな商品をお値打ちに販売する」体制を整えています。また品揃えの充実・割安感の演出を目的とした新品商品も販売しております。

さらにオムニチャネルを活用した「お取り寄せサービス」など、リアル店舗と Web を融合したより便利で安心なお買い物体験を提供しております。